

## ■ 操作画面と各種ボタンの説明

**開く**  
ハードディスクに保存された編集プロジェクトを読み込みます。RexEdit、StormEdit、RaptorEdit、EzEdit、Let'sEDIT、Ultra EDITで作成したプロジェクトファイルも読み込み可能です。

**クリップ追加**  
ハードディスクに保存されている動画・静止画・オーディオファイルなどを読み込んで、ピンウィンドウに配置します。

**キャプチャ設定**  
録画するフォーマットや画質を決めます。DV(AVI)、MPEG1、MPEG2から選択できます。

**音楽CDから録音**  
オーディオCDを音素材としてハードディスクに保存できます。

**DVD作成**  
編集したタイムラインをDVDビデオで出力します。タイムラインに設定したチャプターポイントがそのまま反映されます。

**ファイル書き出し**  
編集したタイムラインをハードディスクに任意のファイル形式で出力できます。DV(AVI)以外にMPEG2やWMV9、コーデックをインストールすればDivX Videoでも出力できます。

**プレビューウィンドウ**  
編集中の映像やカメラの映像が表示されます。自由にサイズを変更することも、フルスクリーン表示も可能です。

**ビデオコントローラ**  
接続したDV機器のコントロールとタイムラインに配置した映像のコントロールを行います。

**タイムラインスケール**  
タイムラインの表示単位を変更するスライダー。一番左が1/30秒表示(1コマ)で、右に動かすほど単位が大きくなります。一番右にするとタイムライン全体が表示されます。

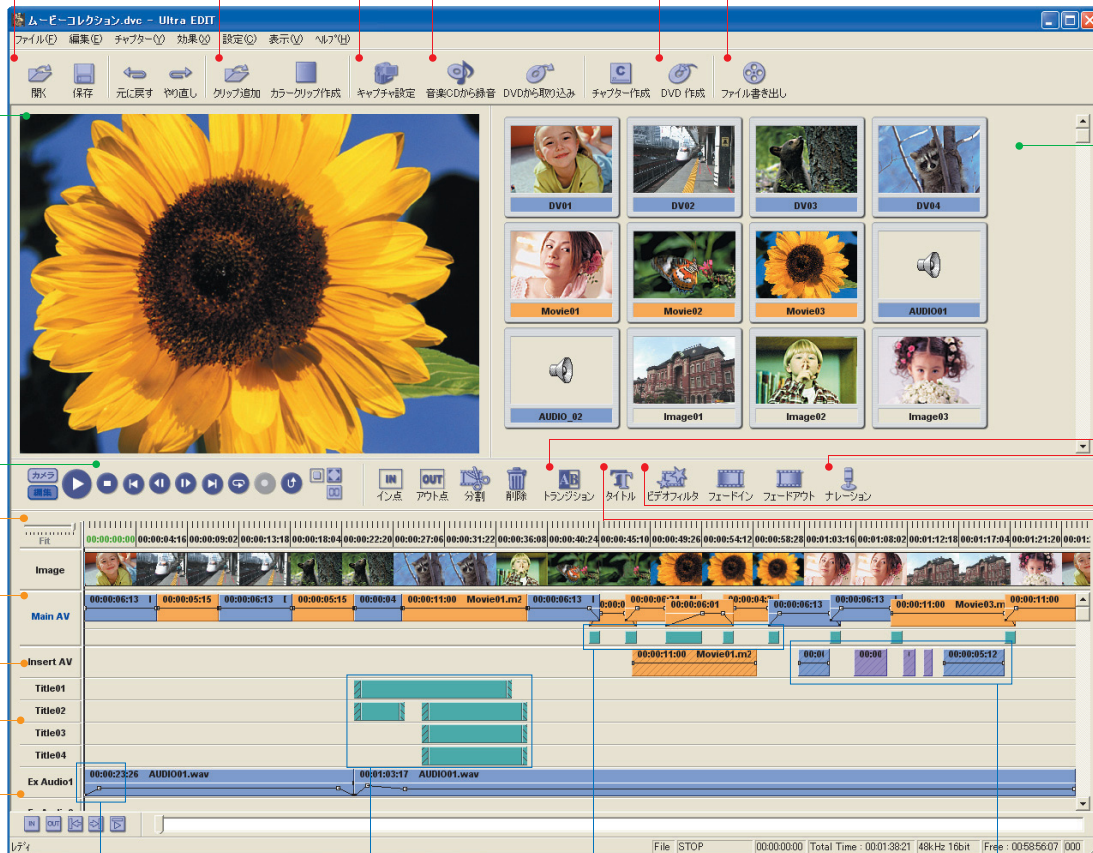
**基本編集ライン (Main AV)**  
基本編集用(常に前詰めで配置される)。映像・静止画を配置でき、トランジションの設定もこのラインの素材に対して行います。

**フリー編集ライン (Insert AV)**  
上書き編集用(自由な位置に配置できる)。子画面合成やクロマキー合成をする時に使用します。

**タイトル編集ライン (Title01~)**  
文字合成用のトラック。最大10本。

**音声編集ライン (Ex Audio1~)**  
音素材合成用のトラック。BGM、効果音、ナレーションなどに使います。最大10本。

**ボリューム調整**  
映像・音声のボリュームは自由に調整できます。この画面ではオーディオクリップがフェード・インしています。



**ビンウィンドウ**  
素材置き場です。編集に使う素材を読み込むと自動的に登録されます。

**トランジション (300種類以上)**  
シーンの変わり目に効果を加えることができます。切り替える方向やパターンなどが自由に設定できます。3D効果をつけたダイナミックなトランジションも用意しています。

**ナレーション**  
マイクを使ってナレーションを録音できます。アフレコ機能を搭載しているため、映像を再生しながらの録音も可能。(ライン入力対応)

**ビデオフィルタ (26種類)**  
映像、静止画に特殊効果を適用します。明るさの調整やフィルム映画のような効果など、さまざまなパターンを合成できます。複数のフィルタを重ねることで、まったく新しい効果を作ることができます。

**タイトル**  
映像・静止画の上のせるタイトルがワープロソフト感覚で作れます。フチドリ、影、エンボスなど文字を装飾したり、テロップのように文字にエフェクトをかけることもできます。

**入力されたタイトル**  
タイトルを作ると、このように帯状のマークで表示されます。この画面では複数のタイトルが一度に表示されるように設定しています。

**追加されたトランジション**  
トランジションを設定すると、クリップが折り重なって表示されます。切り替わる時間は自由な長さで設定することができます。

**ビデオフィルタや特殊合成を設定**  
映像や静止画に対して効果を設定すると帯に斜線が入ります。帯の色はクリップの種類によって異なり、どんな素材を使ったかが一目で分かります。